

## 令和3年度 自己評価結果公表シート

### 蛸ノ浦保育園

#### 1、 評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
Ⅲ 保育者としての資質や能力・良識・適性	<ul style="list-style-type: none"><li>・クラスの担当者は勿論、それ以外の職員全員での情報共有および守秘義務について会議で話し合った。</li><li>・。</li></ul>
Ⅴ 地域の自然や社会とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"><li>・今年度も新型コロナウイルスの影響が大きく、保育園の行事に招待したり、ポスターで告知することも見送った。今まで普通に出来ていたことが出来なくなり、「さみしい」という声も聞かれた。</li><li>・年齢に応じてのお散歩へは行けたが、やはりコロナで回数は減った。</li></ul>
Ⅵ 保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ここ数年クラスに気になる子がいて、支援の仕方や保護者への伝え方、専門機関へのつなげ方など勉強している。ひまわり教室や就学支援委員会、保健師、船野先生など定期的に園訪問があり、以前より関係生が密になっていると感じる。</li><li>・コロナのため参集せず、オンライン研修に数回参加した。</li></ul>
Ⅷ 地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・地元の未就園児は殆どなく、市の中心部からわざわざ足を運んで来る親子もいるので、とてもありがたい。そのまま、入所に繋がると尚良いのだが、転勤族が多い。</li></ul>

#### 2、 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナとの共生も丸2年が経過し、保育園児のマスク着用もだいぶ定着しつつある。手洗い、うがい、消毒などで他の感染症もおさえられ、流行性の疾病はなかった。また、大きな事故や怪我もなく保育園への登園渋り、保護者、家族からの苦情もなかった。親や、祖父母、地域の方が参加の行事は今年も園児のみで行ったり、規模を縮小しての開催だったが、保育士はじめ、職員の工夫で子ども達にとっては、思い出に残るものになったと思っている。

### 3, これから改善したいこと

評価項目	具体的な取組状況
Ⅱ 保育の在り方・ 幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年度は3歳以上児クラスに支援を要する子が数名いて、個々の関わりが大切で、担当の先生だけでなく、職員全員が共通理解をして、成長の手助けができるように何度もケース会議を行った。行事への取組み、参加の仕方も試行錯誤しながら、子どもが主体的、意欲的に参加できるよう今後も努めたい。また、周囲の子ども達が理解できるような言葉がけや準備が必要と感じている。</li> </ul>
Ⅳ 保護者への対 応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一番大切にしていることは、園と家庭・保護者との信頼関係。些細なことでも顔をみて口頭で伝える。会えない時は電話で伝えるなど。また、気になる子の保護者とは年1回の個人面談だけでなく、子どもの様子を見ながら、行事の前後などにあまりかしこまらずに話をする機会を設けることができた。今後も継続していきたい。</li> </ul>
Ⅵ 保育の専門性に 関する研修・研究へ の意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にここ数年は、気になる子の割合が多いと感じる。園内研修はもとより、オンライン研修も取り込み、職員が交替で視聴、勉強した。一人ひとりケースが違うが、職員が同じ関わりをもつよう話し合った。</li> </ul>
Ⅳ 保育の在り方・ 3歳未満児への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年々人数が減り、生まれる子も少ない。どうしても異年齢の混合クラスにせざるを得ない。出来るだけ月例の低い乳児は別クラスにするが、1歳の誕生日を過ぎたら、1, 2歳児クラスにあがることもあると保護者に了解を得ている。</li> </ul>

《第三者委員会》

令和4年3月4日（金）の会議において第三者委員に開示しました